

警察庁によると、2021年の交通事故死者総数は2636人で、歩行者は941人が亡くなっています。そのうち215人は横断歩道を渡っている時に事故に巻き込まれて亡くなっています。

横断歩道は歩行者が安全に

道路を渡ることができるところのほずですが、このように死亡事故が起きているのです。

最近では、横断歩道に歩行者がいても徐行や一時停止をしない車が増え

横断歩道は手を上げよう

ています。運転者は歩行者の安全に細心の注意を払うことが必要です。また、歩行者は横断歩道を渡る時は、運転者に横断する意思を明確に伝えるために「手を上げる」など

の「ハンドサイン」や「アイコンタクト」でコミュニケーションを取ることが大切です。

横断歩道では歩行者が優先であることを社会全体に根付かせ、交通事故を防止しましょう。



交通安全30メモ